

企業ICTシステムを支える安全安心なシステム運用サービス

神代トシコ* 小林 智*
 藤戸元樹* 魚住光成**
 石川栄子*

Secure and Durable System Operation Service for Corporate ICT Systems

Toshiko Kajiro, Motoki Fujito, Eiko Ishikawa, Satoshi Kobayashi, Mitsunari Uozumi

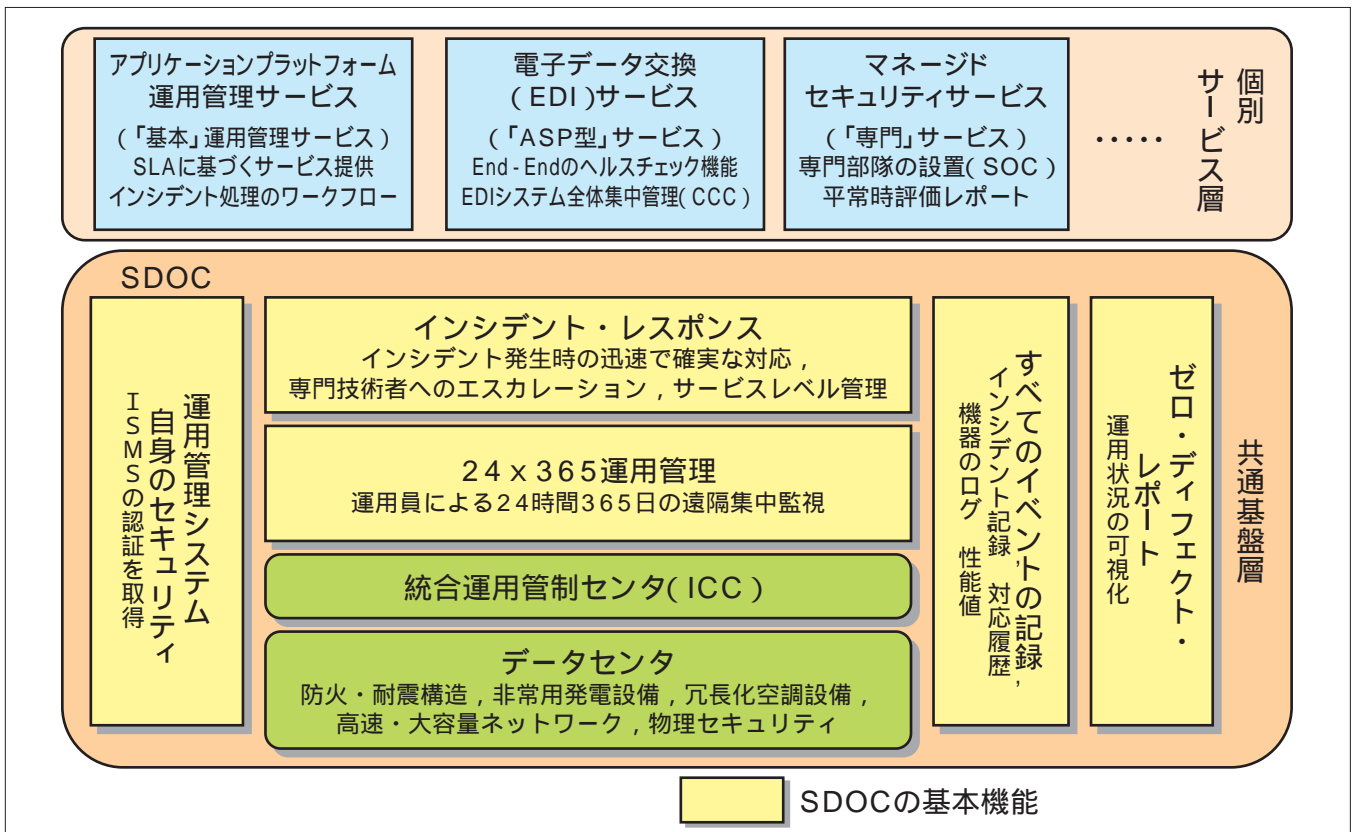
要 旨

企業活動のグローバル化によって、ICT(Information and Communication Technology)システムの連続稼働とその安全性が求められている。また、企業の内部統制強化として、作業履歴に基づく報告、セキュリティ対策などが求められている。そこで、複雑化する運用業務を効率化するため、運用アウトソースとその信頼性への期待が高まっている。

三菱電機情報ネットワーク(株) MIND)では、このような期待にこたえるICTシステム運用サービスの共通基盤としてSDOC(Secure & Durable Operation Center)アーキテクチャを据え、それを基に対象システムごとの特性に応じたサービスを提供している。SDOCでは、データセンタと統合運用管制センタ(ICC)を物理基盤とし、5つの基本機能

能を実現する。これらは、24×365運用管理、運用員のインシデント対応、専門技術者へのエスカレーション、サービスレベル管理などを行うインシデント・レスポンス、インシデント、運用員の操作、監視対象機器のログなどをもれなく取得し保管するすべてのイベントの記録、ICTシステムの運用状況を可視化するゼロ・ディフェクト・レポート、ISMS(Information Security Management System)認証を取得した運用管理システム自身のセキュリティである。

MINDはSDOCを基盤として、アプリケーションプラットフォーム運用管理サービス、マネージドセキュリティサービス、電子データ交換(EDI)サービスなどを行うことで、安全安心なシステム運用管理サービスの提供に努めていく。



SDOCアーキテクチャ

SDOCは、ICTシステムの運用管理サービスを行うための基本アーキテクチャである。ICTシステムに不可欠の安定した電源、空調及びネットワークを提供するデータセンタと、遠隔集中監視を可能とする統合運用管制センタが、SDOCの物理基盤である。5つの基本機能はこれらの物理基盤、運用マニュアル及び訓練された運用員によって実現される。個々の運用管理サービスは、SDOCの基本機能を基盤として実現される。